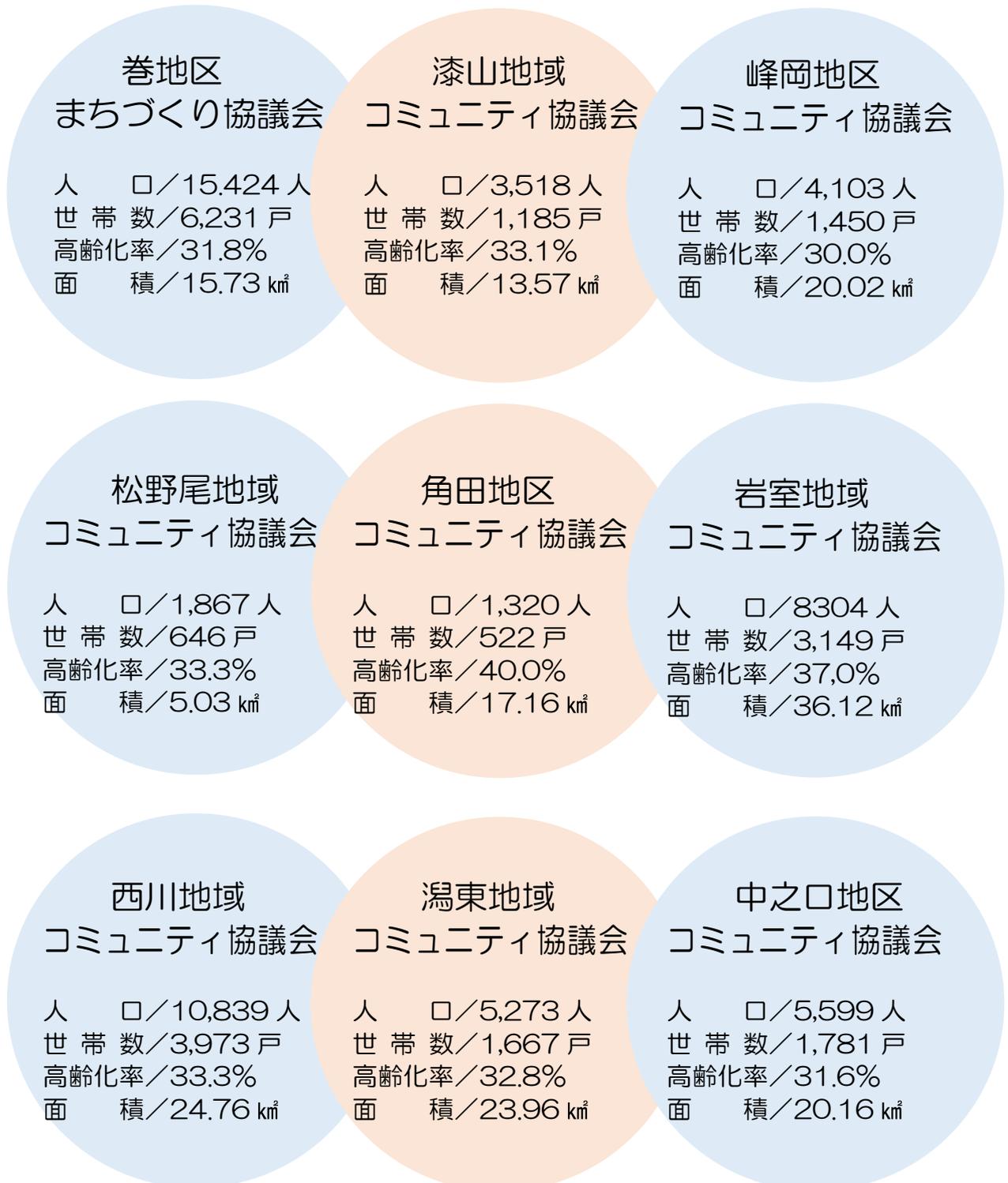


地域福祉活動計画を策定するにあたり、福祉関係者に向けたアンケートを実施し、地域の現状と課題、今後の取り組みについてご意見をいただきました。アンケート結果を基に西蒲区の9のコミュニティ協議会ごとに関係者による福祉座談会を行い、活動計画を見直しました。

福祉関係機関、社協、行政と連携しながら、各コミュニティ協議会で目標を設定し、地域課題の解決に向けて取り組みます。

コミュニティ協議会概要



人口、世帯数は令和2年3月末数値、面積は「西蒲区ビジョン」まちづくり計画（平成20年3月発行）を使用

巻地区
まちづくり協議会

巻地区は、まき鯛車商店街を中心とした住宅街、西蒲区役所や警察署などの行政施設、4つの県立学校、巻体育館や巻文化会館などの文化施設、病院や診療所などの医療機関が多数あります。近年、大型複合施設が出店するなど、新たな土地利用も進んでいます。また、地域を流れる矢川にある「矢川ふれあい公園」は、住民の憩いの場となっています。

巻地区の現状と課題

【取り組まれていること】

- ◆ 見守りチェックシートを全戸に配布し、住民が困りごとを相談しやすい、「困った」と声を上げやすい地域ができている。(巻3区)
- ◆ 地域独自に災害時の援護活動名簿を作成し、班で見守る地区ができている。(葉萱場)
- ◆ 防災訓練や地域清掃活動、祭りなどの行事で互いに顔を知り、災害時の支援に生かしている。



【地域の課題】

- ◆ 自治会によって見守りに違いがある。ウイルス禍を考慮した新たな見守りシステムを構築する
- ◆ 福祉活動をしている人たちの高齢化が深刻で、若手の育成が必要
- ◆ 自治会やまちづくり協議会、老人クラブ活動等、各集まりに参加するメンバーが固定化している。参加者の誘致と担い手の育成が必要
- ◆ 自分の住んでいる地域に、もっと興味を持ってもらう工夫が必要
- ◆ 子ども、子育て世代を応援する取り組み、多世代交流の機会をつくる

年齢3区分別人口推移



『めざす姿・基本理念』 こんなまちにしたい

基本理念

つながり支え合い、
助けあって解決をめざす
巻地区

写真

『めざす姿・基本目標』 地区の取り組み

基本目標1：だれ一人見逃さない、
安心安全な見守りづくり

- ・新しいつながり方を取り入れながら、地域の見守りの仕組みを作ります。
- ・日頃から声を掛けあって、困った時に助けてと言える地域を目指します。
- ・災害発生時、だれひとり取り残さないしくみづくりを目指します。

基本目標2：だれもが気軽に集える場づくり

- ・地域の茶の間や子育てサロンなど、高齢者や子どもたち、障がいがあってもなくてもだれもが集える居場所を広げます。
- ・公共施設（体育館、公民館、公園等）や空き家の有効的な利活用を検討します。

基本目標3：地域の福祉を担う人材づくり

- ・次の世代につながる人材育成やボランティアの発掘に努めます。
- ・地域の課題解決を図る福祉協力員の育成を進めます。
※福祉協力員は、地域の見守りや福祉課題を民生委員・自治会長・社協と連携しながら解決を図っていく役割

漆山地域 コミュニティ協議会

漆山地区は、旧巻町の南東部に位置し、地域の東端には北陸自動車道巻潟東インターチェンジがあり、高速バスによる交通の便に恵まれています。漆山企業団地にはJA越後中央本店や航空産業、運輸業など多くの企業が操業しています。地域の大半は水田で占められ、水稻単作農業が盛んです。

漆山地区の現状と課題

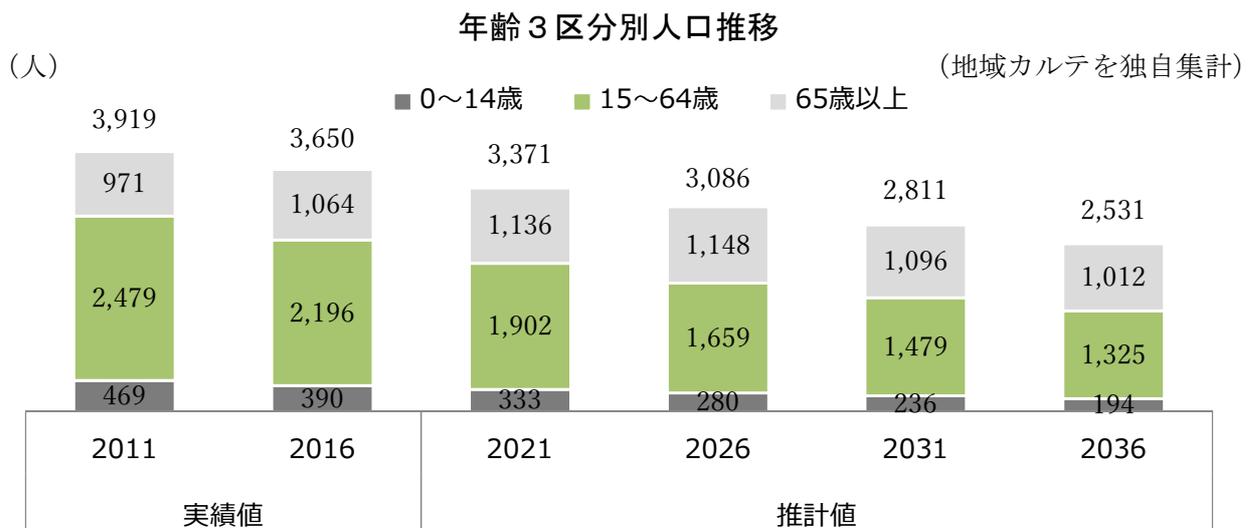
【取り組まれていること】

- ◆ 全世帯に「見守り支え合いシート」を配布して、地域ぐるみで見守り活動に取り組んでいます
- ◆ 健康教室や体操、スポーツなど、健康づくりに関する活動が盛んです
- ◆ 地域の茶の間設置を検討しています
- ◆ 企業団地の企業とつながりを持って、災害時の避難を考えています。

写真

【地域の課題】

- ◆ 自治会、老人会、婦人の会などの集まりは多くあるが、参加する人が固定化してきた。また、年々少なくなっている。
- ◆ 災害時の具体的な場面を想定した訓練が、個人情報保護の関係から、どのように取り組めばよいか共有できていない。
- ◆ 自治会組織や福祉を担う人材が育っていない。若い人たちからも地域のことを考えてほしい
- ◆



『めざす姿・基本理念』 こんなまちにしたい

基本理念

ともに助け合い、
支え合い、
交流を大切にする漆山

写真

『めざす姿・基本目標』 地区の取り組み

基本目標1：いつでもだれでも集まれる
交流の場づくり

- ・ 交流の機会を増やし、情報共有を図ります。
- ・ 歩いて行ける茶の間をつくり、孤立させない工夫をします。(特に男性)
- ・ 漆山の宝でもある「自治会組織」を茶の間とつないで取り組みます。

基本目標2：住民の防災意識と、
災害時の地域力を高めます

- ・ 企業や施設などと連携し、災害時に地域の社会資源を生かせるようにします。
- ・ 様々な状況を想定した訓練を実施し、災害への備えを共有します。
- ・ 平時から「支え合いシート」を活用したつながりを大切にします。

基本目標3：次世代を育て、地域を支える人づくり
まちづくり

- ・ 自治会活動、グループ活動などから地域を支える人材を育成します。
- ・ 支え合いや助け合い活動の仕組みづくりを進めます。
- ・ 地域での話し合いを継続し、若い世代への継承に努めます。

峰岡地区
コミュニティ協議会

峰岡地区は、角田山東側に位置し、国指定の菖蒲塚古墳や米百俵を長岡藩に贈った三根山藩址など多くの史跡や文化財が点在するほか、日帰り温泉じょんのび館や城山運動公園があり年間を通じて多くの観光客が訪れます。また、イチジクやおけさ柿の産地として多くの農産物を生産しています。

峰岡地区の現状と課題

【取り組まれていること】

- ◆ 地域福祉会の行事や講演会があり、住民一人ひとりの意識の向上に役立っている
- ◆ 草刈りや清掃活動など、地域を維持するためのボランティア活動に参加がある
- ◆ 積雪時、高齢者世帯を優先的に除雪し、孤立しない仕組みを作っている



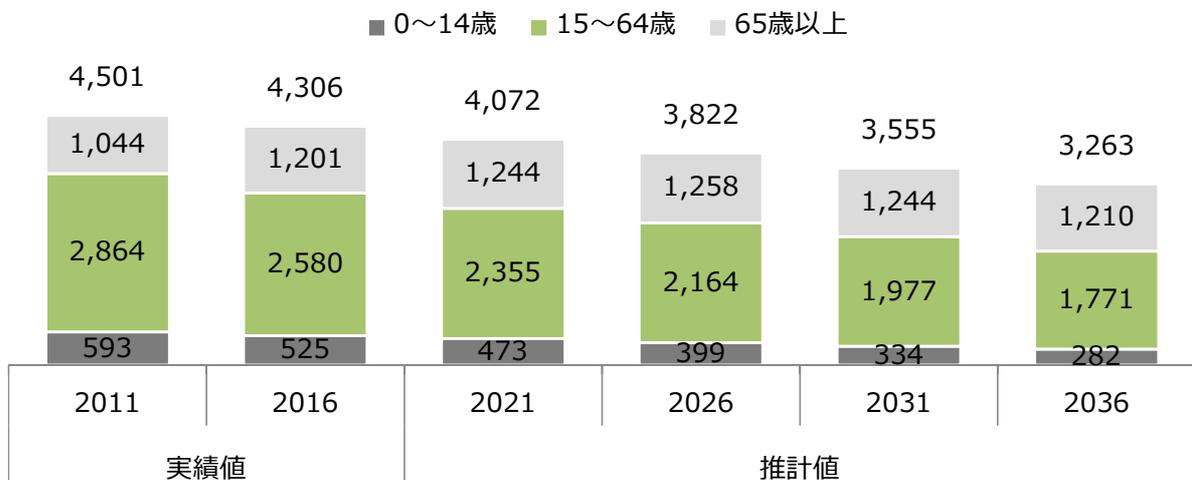
【地域の課題】

- ◆ 地域の茶の間を立ち上げる計画があるが、交通手段がなく、茶の間に行きたくても行けない人について対策が必要である
- ◆ 人材育成やリーダーというとだれもやりたがらない。輪番制でだれかにサポートしてもらえるとよいのだが。
- ◆ 若者世代とのギャップがあり、若い人たちが入りやすい取り組みが必要
- ◆ 地域福祉の中心となる組織づくりや協力体制の構築

年齢3区分別人口推移

(人)

(地域カルテを独自集計)



『めざす姿・基本理念』 こんなまちにしたい

基本理念

だれもが安心して
暮らし続けられる
峰岡地区



『めざす姿・基本目標』 地区の取り組み

基本目標1：小地域での支え合いを大切にする
峰岡地区

- ・だれもが気軽に集まることができる場づくりと体制づくりに努めます。
- ・困ったときに支えあえる関係をつくるため、情報共有を図ります。
- ・地域を担う人材を育成します。

基本目標2：だれもが安心・安全に
生活できる峰岡地区

- ・見守り活動、防災・安全パトロールの強化に努めます。
- ・防災活動の啓発に努め、だれ一人見逃さない仕組みづくりを推進します。
- ・地域間で連携しながら防災意識を高めます。

基本目標3：世代を超え、すべての住民がつながる
峰岡地区

- ・地域行事の参加を呼びかけ、多世代交流の機会をつくります。
- ・自治会同士がつながりを作れる機会を設け、顔の見える関係づくりを図ります。

松野尾地域 コミュニティ協議会

松野尾地区は、古くから農業主体の地帯ですが、最近では草花苗や野菜苗の生産も盛んで農業形態も変わってきました。上堰潟公園には湖面を囲む1周2キロメートルの遊歩道やバーベキュー施設が整備されピクニックなどで楽しめます。松野尾地域コミュニティセンターでは講演会や音楽会など各種イベントが開かれます。

松野尾地区の現状と課題

【取り組まれていること】

- ◆ 見守り、訪問活動を民生委員や近隣住民が行っている
- ◆ 防災訓練に班単位で参加し、災害時に班単位の安否確認を行うことにしている
- ◆ コミ協行事の盆踊り大会や文化祭、防災訓練などがつながりの機会となっている

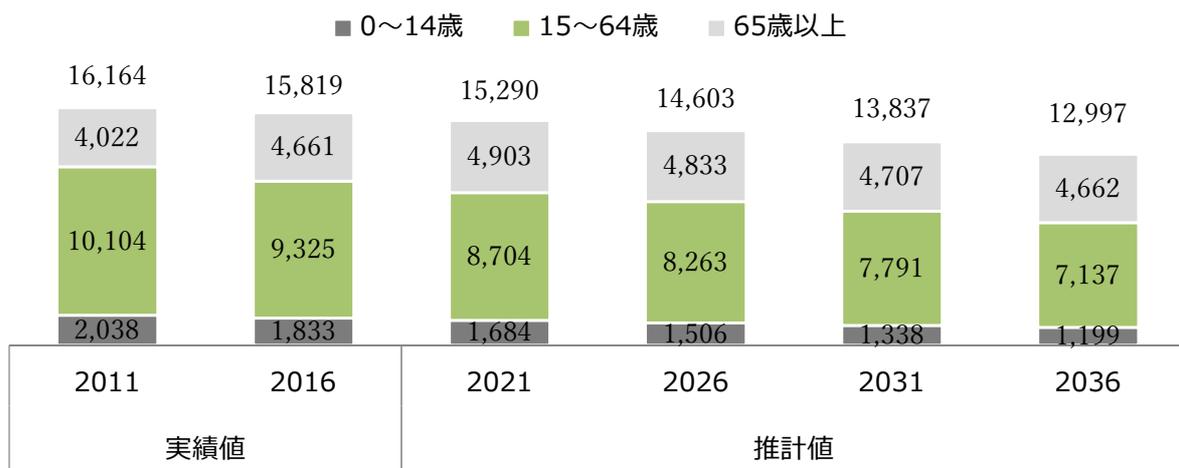
写真

【地域の課題】

- ◆ 若い世代とつながる機会、交流の機会が少ない
- ◆ 茶の間も健康教室も新たに参加する人がいない。積極的に誘いの声をかけている茶の間もある。
- ◆ 空き家が少しずつ増えているのが心配である。

年齢3区分別人口推移

(人) (地域カルテを独自集計)



『めざす姿・基本理念』 こんなまちにしたい

基本理念

みんなで
つくっていこうよ
わがまち松野尾



『めざす姿・基本目標』 地区の取り組み

基本目標1：だれも一人ぼっちにしない
地域づくり

- ・高齢者、一人暮らし世帯や困っている世帯への見守り活動を推進します。
- ・茶の間や地域行事に参加して、助け合う信頼関係をつくります。
- ・平時の取り組みを活かし、災害時に、一人も取り残さない仕組みづくりを進めます。(班単位による安否確認や避難誘導の支援計画)

基本目標2：子どもが安心して
元気に活動する地域づくり

- ・家庭、地域、学校の連携により地域ぐるみで活動を展開します。
- ・子ども対象の事業を、若い世代に中心になってもらい推進していきます。
- ・コミュニティセンター前の広場を子どもたちのために有効活用していきます。

基本目標3：すべての住民がつながる地域づくり

- ・コミ協事業を通して交流を図り、地域住民の連携を強化します。
- ・さまざまな世代のつながりから、地域ボランティアの発掘と育成を図ります
- ・本計画を広報紙等で、地域全体に周知します。

角田地区 コミュニティ協議会

角田地区は、角田山の麓に位置し、砂丘地ではスイカやメロンなどの果物、ダイコンやネギなどの野菜の畑作が盛んです。遠浅の海岸、奇岩海岸の海岸線があり、越前浜、角田浜の2つの海水浴場があります。個性的な5軒のワイナリーが集まるワイン産地が生まれ、新潟ワインコーストと呼ばれています。

角田地区の現状と課題

【取り組まれていること】

- ◆ 気になる人の連絡体制をつくり、地域の見守り隊が訪問する仕組みがある。「お助け隊」も活動に加わる予定
- ◆ 越前浜地区が移住モデル地区に指定され、空き家所有者と移住希望者のマッチングなどに取り組んでいる
- ◆ コミュニティセンターが、子どもから高齢者までの居場所になっている

写真

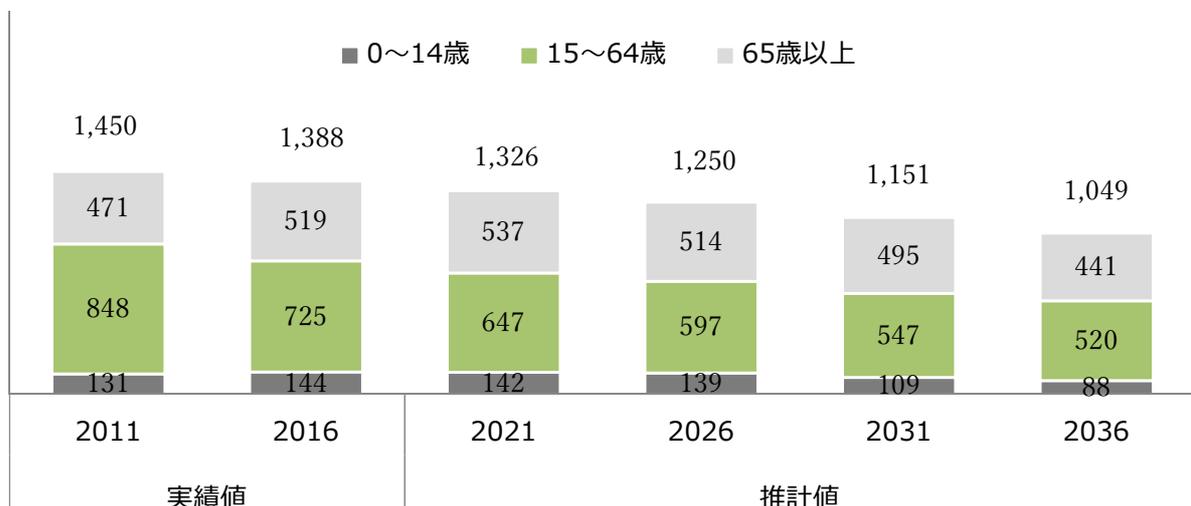
【地域の課題】

- ◆ 買い物は移動販売（とくし丸）が回って来るが、ホームセンターの品物などは売っていない。公共交通については引き続き行政へ依頼していく
- ◆ 高齢者が多く、行事などに参加困難な地区がある（五ヶ浜）
- ◆ 高齢者の居場所が不足している
- ◆ 集まりごとに、若い人の参加が少ない

年齢3区分別人口推移

(人)

(地域カルテを独自集計)



『めざす姿・基本理念』 こんなまちにしたい

基本理念

自然豊かな
三浜地区が協力して、
助け合うまちづくり

写真

『めざす姿・基本目標』 地区の取り組み

基本目標1：支え合い助け合うまちづくり

- ・助け合い活動について地域住民で考え推進します。
- ・地域住民の意見を吸い上げながら、公共交通と共に支え合いの移送サービスを研究します。
- ・地域全体で、児童や高齢者の居場所づくりを進めます。

基本目標2：安心・安全で暮らしやすい地域づくり

- ・地域の見守り活動や消防団活動などを周知しながら、地域住民生活の安心・安全を推進します。
- ・防災訓練をさらに充実し、三浜地区の災害に備えた連絡体制を強化します。

基本目標3：次世代を担う人づくりで地域力アップ

- ・移住モデル地区をPRし、移住者と共に地域力を高めます
- ・だれもが集まりごとに参加しやすい体制づくりに努めます。
- ・地域の担い手として、多くの人が活躍できる場を提供します。
- ・三浜地区が連携し、若い世代へ人づくりの継承に努めます。

岩室地区 コミュニティ協議会

岩室地区は、西は日本海、東は越後平野が広がり「岩室温泉」は新潟市の奥座敷として親しまれています。農村景観百景に選ばれた「夏井のハザ木」は今も約600本が保存され、多宝山の風景とマッチして懐かしい情景に出会えます。観光施設「いわむろや」では、いわむロックなど多彩なイベントや地場産品のお土産、足湯が楽しめます。

岩室地区の現状と課題

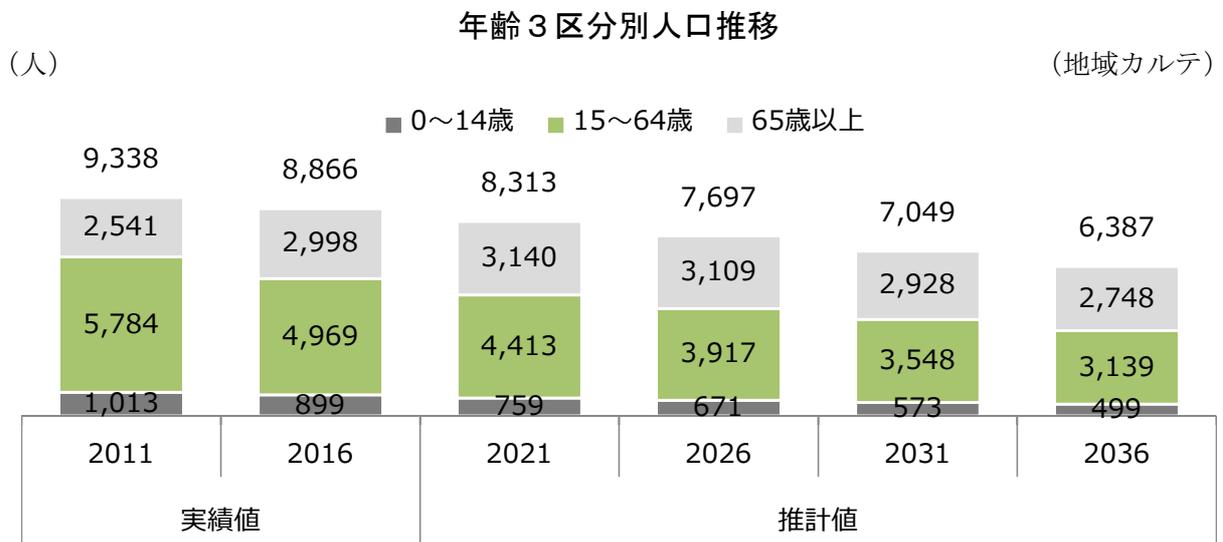
【取り組まれていること】

- ◆ 昔ながらの隣近所で助け合う「お互い様」の精神が残っている
- ◆ サロン、地域の茶の間が多くあり（サロン助成44、地域の茶の間3）健康寿命延伸の機会となっている
- ◆ 地域の茶の間、自治会の会合や老人クラブなどの集まる場が困りごとの気づきの場となっている



【地域の課題】

- ◆ 若者や子ども、世代間をつなぐ必要があり、きっかけ作りが求められる
- ◆ 茶の間の参加者などが固定化している。内容の充実や工夫が必要
- ◆ 移住してきた人が孤立しがちである



『めざす姿・基本理念』 こんなまちにしたい

基本理念

みんなんでつながる
福祉のまちづくり



『めざす姿・基本目標』 地区の取り組み

基本目標1：絆を大切にする地域づくり

- ・これまで築いた自治会、近隣同士のつながりを継続・強化します。
- ・「向こう三軒両隣」のお互い様の精神を地域に広がります。
- ・困ったときに「助けて」と言い合える地域を目指します。

基本目標2：集いの中で広げよう、地域のつながり

- ・豊富な地域の茶の間を生かした活動に取り組みます。
- ・だれもが参加しやすい居場所づくりに努めます。
- ・多世代交流の機会をつくります。

基本目標3：地域を担う人財づくり

(人こそ財=宝という意味を込めて「人財」としている)

- ・地域活動参加者が増えるきっかけ作りを行います。
- ・互いの活動を繋げる交流、多世代がつながる交流機会をつくります。

基本目標4：だれひとり見逃さない、
孤立させない地域づくり

- ・互いに気づき、支え合う意識づくりに努めます。
- ・地域の困りごとをキャッチする見守り活動の仕組み化を目指します。
- ・災害発生時、一人も見逃さないため具体的な災害対策を検討します。

西川地域
コミュニティ協議会

西川地区は、新潟駅まで20kmの位置にあります。古くは長岡藩の代官所が置かれ、穀倉地帯の要となっていました。春の桜まつり、夏の西川まつり、秋のえちごにしかわ時代激まつりは、地域を上げて賑わいます。地域の宝「傘ぼこ」を中心とした活動に取り組み、西川地域の町おこしに力を注いでいます。

西川地区の現状と課題

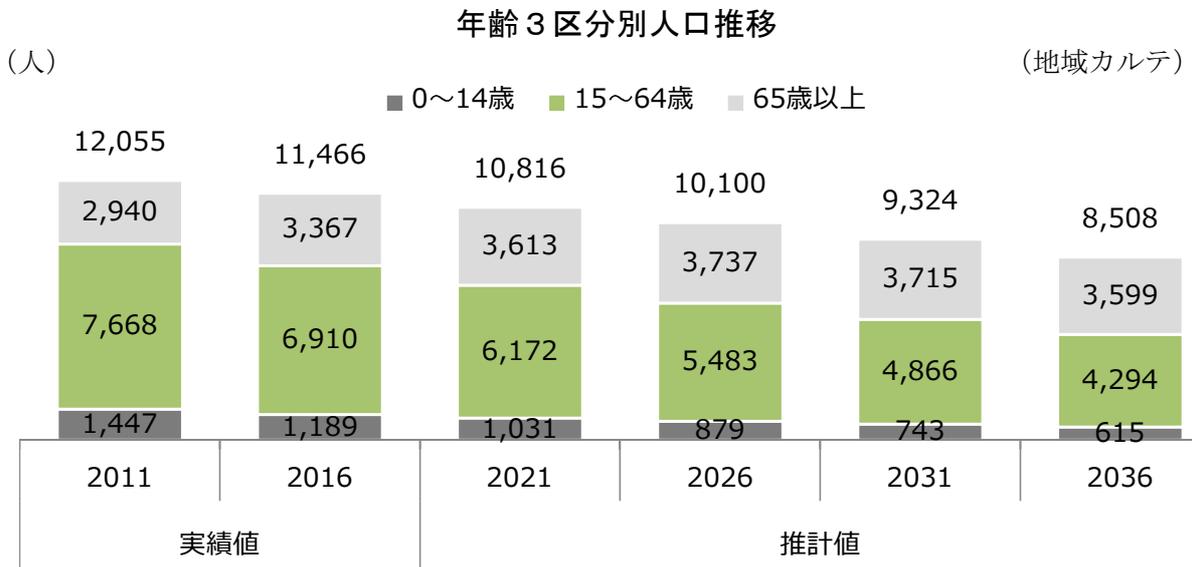
【取り組まれていること】

- ◆ 自主防災組織が立ち上がり、防災訓練や要援護者の支援体制ができている地区が多い
- ◆ 茶の間やサロンが増えて、参加者も増え内容も充実している
- ◆ 自治会・町内会や民生児童委員の見守り、安否確認の活動が困りごとの気づきや情報共有に活かされている



【地域の課題】

- ◆ 地域の茶の間を中心にボランティアが育っている反面、ボランティアが高齢化している
- ◆ 自治会役員も含め若い世代が役割を持つことや地域活動への参加、ボランティア育成のきっかけが必要
- ◆ 防災訓練では参加する地域や参加者が固定化しているため、新たな参加者を集める必要がある



『めざす姿・基本理念』 こんなまちにしたい

基本理念

支え合おうよ！
みんなの暮らし、
広げようよ
助け合いの輪



『めざす姿・基本目標』 地区の取り組み

基本目標1：助け合いの心を育み、

住民同士のつながりを大切にする西川

- ・ 普段の生活で困ったときに助けてと言いやすい地域づくりを広めます。
- ・ ボランティア活動・地域活動や居場所づくりを通じて、住民同士がつながる機会を広めます。
- ・ 障がい者や子どもたちが、ふれあう機会を広めます。

基本目標2：だれもが安心・安全に暮らせる西川

～だれひとり、孤立をさせない、安心・安全なまちづくりを進めます～

- ・ 地域の見守り活動をしくみとして広めます。
- ・ 地域で要支援者や社会的弱者の把握に努め、平時から安否確認や連絡が取れる体制づくりを進めます。
- ・ 地域の防災意識が高まるような啓蒙啓発活動を進めます。
- ・ 避難場所の周知や災害を想定した避難訓練を推進します。

基本目標3：地域を担う人をつくる西川

- ・ 地域福祉推進をみんなが我が事とし、新たな担い手育成に努めます。
- ・ 各団体の活動を積極的に地域住民に情報発信し、地域活動への理解促進に努めます。
- ・ だれも（特にシニアの方や男性）が地域で活躍できる環境づくりを進めます。

潟東地域
コミュニティ協議会

潟東地区 かつて鎧潟ありし。水田に水稻苗が並ぶ春、どろんこカップの夏祭り、黄金色の稲穂の収穫を祝う秋、冬はカモン！かもねぎまつり、米作りが基幹産業の農村地区です。公営の樋口記念美術館では潟東地区出身で日本の青果市場の礎を築いた樋口顕嗣氏が収集した美術品が展示され、企画展も行われています。

潟東地区の現状と課題

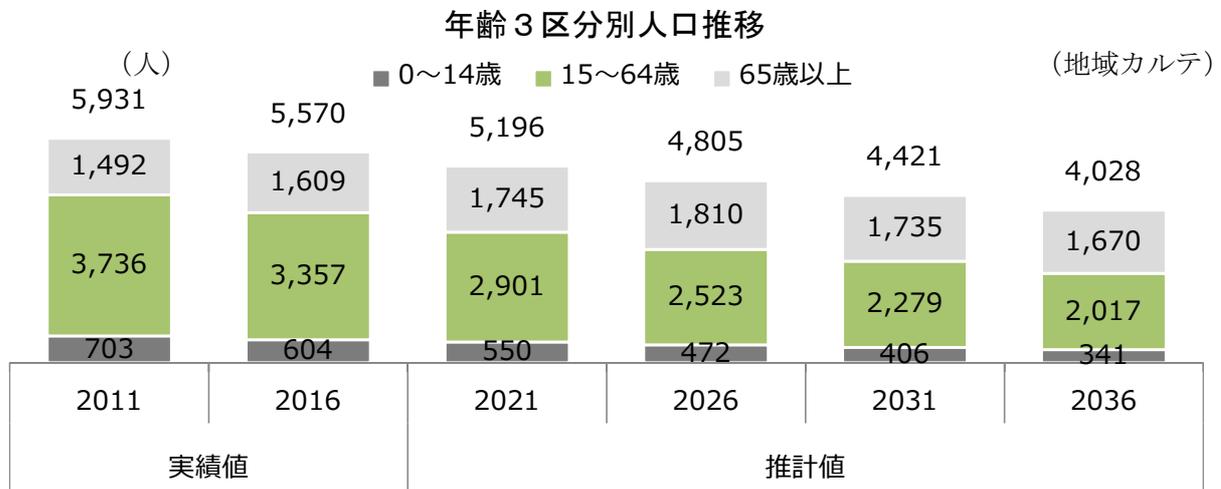
【取り組まれていること】

- ◆ 買い物や通院の付き添い、ちょっとした家事など高齢者の生活を支援する住民グループができて、困りごとに対応している（横戸地区支え合いネット）
- ◆ 災害時の安否確認や要援護者支援を考えて、防災訓練に取り組んでいる
- ◆ 地域の茶の間や老人会といった「集まりの場」で困りごとがキャッチできる



【地域の課題】

- ◆ ボランティアを育成するような活動、人材や場所づくりが求められている。また、有償ボランティアの組織化などについて、研究、工夫が必要である
- ◆ 見守りや声かけの体制整備と、「助けて」といいやすい環境づくり
- ◆ 今の他人の困りごとは、これから先の自分の困りごとと考える気風を広げる



『めざす姿・基本理念』 こんなまちにしたい

基本理念

だれもが安心して
暮らせる潟東、
支え合って羽ばたこう

写真

『めざす姿・基本目標』 地区の取り組み

基本目標1：地域のつながりと共生の心を
大切にする潟東

- ・地域サロンの充実に取り組み、だれもが参加しやすい体制づくりを目指します。
- ・多世代交流による集まりの場を通し、互いに理解し、多様性を認め合う地域づくりに努めます。
- ・地域活動ボランティアの発掘と、人材育成に努めます。
- ・先人を敬い、次代を担う子育て世代の支援と環境づくりに努めます。

基本目標2：だれもが安心・安全に暮らせる
地域づくり

- ・具体的な災害を想定した訓練の実施など、自主防災組織の活動と整備に取り組めます。
- ・生活に困ったときはだれかに相談できる、地域の関係・環境づくりに努めます。

中之口地区 コミュニティ協議会

中之口地区は、桃、梨、ぶどうが特産で、特にぶどうのハウス栽培発祥の地であり、巨峰をはじめ高級品種が出荷されています。「門田ハザ並木」は日本街路樹百選に選ばれ往来する人の目を楽しませてくれます。中之口先人館は第36代横綱羽黒山政司や先人の業績を、澤将監の館は復元された大庄屋の生活を偲ぶことができます。

中之口地区の現状と課題

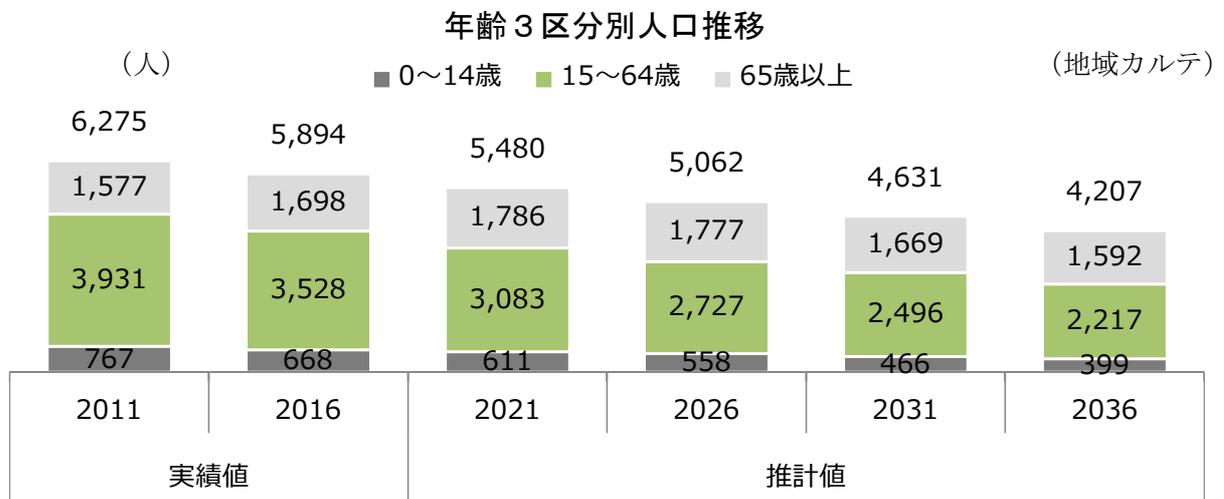
【取り組まれていること】

- ◆ 地域の茶の間「こいこい車」の活動が充実し、交流の場や気づきの場になっている
- ◆ 地域の茶の間や老人会活動、健康教室、地域行事などが健康寿命延伸に役立っている
- ◆ 自治会や学校、民生児童委員などによる見守り、声かけ活動
- ◆ 防災無線を活用した小学生への見守り



【地域の課題】

- ◆ 高齢者等の移動に関するサービス、交通手段の充実（デマンドタクシー）
- ◆ 次世代の地域リーダーやボランティアの育成
- ◆ 地域の茶の間や各種行事等の集まりに参加しない方への働きかけ
- ◆ 困っている人が声を上げやすい関係づくり



『めざす姿・基本理念』 こんなまちにしたい

基本理念

みんなで考え、つながり
お互いさまで助けあう
地域



『めざす姿・基本目標』 地区の取り組み

基本目標1：声かけで安心して
暮らせる地域づくり

- ・困ったときに相談しやすい・声を上げやすい地域の体制・組織づくりに努めます。
- ・多世代交流の場や、男性が参加しやすい場づくりを推進します。
- ・顔の見えるネットワークづくりに努めます。

(追加)

- ・次世代につながるような子どもについての文言追加予定

基本目標2：地域をささえる人材育成

- ・コミュニティセンターを軸とした地域を支える人材育成に努めます。
- ・災害が発生したらという具体的な取り組み、地域防災への意識づくりを進めます。

(追加)

- ・次世代につながるような子どもについての文言追加予定